

令和6年度

社会福祉法人えどがわ

事務事業計画（案）



みんなの笑顔
みんなの未来

「社会福祉法人えどがわ」は、平成14年3月、江戸川区内の全私立幼稚園及び全私立保育園の設置者及び園長により設立され、これまで培ってきた経験と英知を集結し、「養護・教育・子育て支援」の三本柱を中心とした保育園運営を行っています。

これからも、江戸川区の子ども達の健やかな成長を目指すとともに、子ども一人一人の個性を尊重しながら、時代に相応しい、子どもを主体とした「おひさま保育園らしい保育」を継承していきます。

基本理念

※令和6年度より表現をわかりやすく改訂

おひさま保育園は、養護と教育を一体的に行なう中、子ども一人一人を尊重しながら、生きる力の基礎を身につけ、地域に開かれた子育て支援を展開し、保育園としての社会的役割を果たしていきます。

教 育

遊びや生活の中の
体験を通して学
び、「生きる力」
を育みます

養 護

子どもの心に寄り
添い、一人一人の
発達に応じた援助
や関わりにより、
健康な心と体を育
てます



子育て支援

保育園の特性を活
かし、すべての子
育て家庭の安心と
笑顔を応援します

私たちは「子ども」と「わくわくの出会い」を応援します



みんなの笑顔
みんなの未来

耳をすましてごらん

手をのばしてごらん

わくわくの種が

ほらそこに

保育目標

※令和6年度より全園統一の
保育目標としました

きょういく
心の響育

挨拶・感謝・素直な気持ち
を大切にします

ありがとう
のこころ

好奇心と探求心
の芽生えを
大切にします

やってみよう
のこころ

かんじる
のこころ

五感の育ちと
豊かな感性を
大切にします

＝＝＝＝＝ 基 本 方 針 ＝＝＝＝＝

少子化の急速な進展や待機児童の解消とともに、保育施設の機能や役割が大きく変わろうとしています。

“保育に欠ける子ども”から“保育を必要とする子ども”へ、そして今後は、“すべての子どもに必要な保育”へと変わっていくのでしょうか。

現在、試行され本格実施が検討されている「こども誰でも通園制度」など国の動向を注視しつつ、今後も地域の子育て支援拠点施設としての役割を果たせる施設であり続けるため、一層の努力をしてまいります。

《いつまでも江戸川区民の保育園であり続けるために》

選ばれる保育園づくり

- ・「子どもの育ち」に必要な保育と「親の期待」に応える保育の両立
- ・保護者と一緒に考え、一緒に創りあげていく保育を追及
- ・常に「安全と安心」を第一に考える“おひさま保育園”を宣言
 1. ハードとソフトの両面から対応
 2. ヒヤリハットの各園共有化及び分析とその活用
- ・安全安心で快適な保育環境の構成と設定の検討(園内カメラの有効活用)
- ・園庭や施設環境・給食・絵本・玩具など法人の強みと特色の表現強調
- ・社会問題を意識した保育園運営(子どもの人権、SDGs、グリーン化、DXなど)
- ・新しい保育に向けた取組(時代にフィット・マッチした保育の提案や新たなサービス)

保育の質の向上と学びあう職員の姿

- ・子どもが自己を発揮し、生活を創り出す力を育む保育
- ・保育の質の向上を目指す環境構成と設定(物的環境と人的環境)
- ・不適切保育に関する園内研修を継続し、法人独自の基準を策定
- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(架け橋期の小学校との連携)

保育を取り巻く環境の変化への対応

- ・保育士不足や不適切保育など喫緊の課題への対応
- ・在籍率の低下に見合った利用定員への変更(施設に見合った定員へ)
- ・延長保育利用者の大幅減少と短時間認定児童の増加
- ・「気になる子ども」と「課題を持った家庭」の増加

中 長 期 的 計 画

職員の資質向上と働き方(働かせ方)の改革

- ・「求められる職員像」を目指したエンゲージメントの向上
- ・職場の活性化と職員のやる気の向上（全職員がウェルビーイング）
- ・誰もが「働きやすく」「働き続けたい」と思える職場づくり
- ・ICTの積極的な活用と効果の還元(成果は保育の質の向上へ)

健全財政の堅持

- ・予算編成方法(積み上げ方式・枠配方式)と予算執行管理方法の適正化
- ・利用者の減少や公定価格等の動向などを見極めた財政(中長期)計画
- ・大規模法人としてのスケールメリットを活かした業務執行
- ・ICT化、業務改善による事務事業の適正化と効率化
- ・財源配分の検討(成果型配分、水平調整から垂直調整へ)
- ・どのような状況でも持続可能な運営ができる新しい運営スタイルの確立

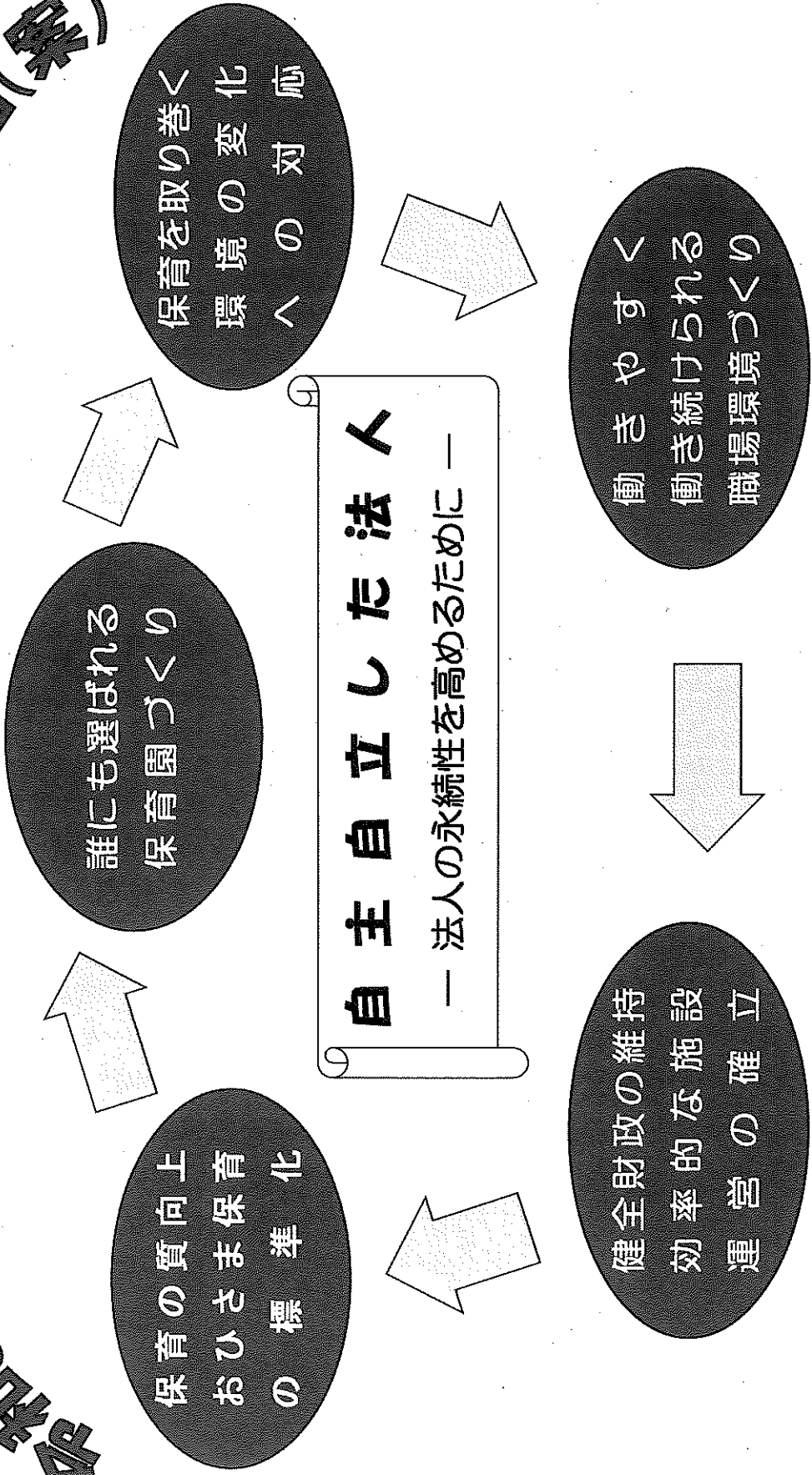
安全安心で快適な保育空間づくり

- ・老朽化施設等への対応(建替え、大規模改修など)
- ・「おひさまの保育」に相応しい保育環境の構成と設定

保育を取り巻く環境の変化への対応

- ・乳幼児人口や利用者の減少への柔軟な対応
- ・保育を必要とする子どもの施設から地域子育て支援の拠点施設へ
- ・社会的課題への対応(気になる子、課題を持った家庭、児童虐待など)
- ・おひさま保育園の標準化
- ・おひさま保育園らしい保育と「保育の質の向上」
- ・法人組織力の強化など

社会福祉法人えとがわ事業実施計画(案) 第1年度



《具体的な取り組み方法》

○誰にも選ばれる保育園づくり

- ・専任講師による教室事業の標準化(英語あそび・体育あそび) ※体操服の無償提供
- ・日常活動の動画配信 ・臨床心理士による全園の巡回指導(目標)
- ・PR活動、情報は発信の強化(出張☆子育てひろば、SNSによる発信)
- ・新しいサービスの実施及び検討(オムツのサブスク、こども誰でも誰での通園制度の研究等)
- ・適正な利用定員の設定、ICT活用の再検討、安全安心第一の宣言、園庭の活用

○保育を取り巻く環境の変化への対応

- ・就学前人口と利用者減少への対応策(持続可能な新しい保育園運営スタイルの確立)
- ・社会的課題への対応(虐待、気になる子、課題を持つ家庭、子どもの人権、SDGs、グリーン化)
- ・どんな環境でも持続可能な運営スタイルの確立(人・物・金・情報)
- ・「気になる子ども」と「課題を持った家庭」への支援の在り方

○働きやすく働き続けられる職場環境づくり

- ・各園の環境や体制に応じた働きやすい職場づくりの推進(ノンコンタクトタイムの充実)
- ・事務負担の軽減対策(キャッシュレス化の研究、書類の標準化とシステマ化など)
- ・キャリアパスに繋がる研修と適正な昇給及び公平な昇任選考の実施
- ・多様な雇用形態の導入検討(子育てや介護などライフスタイルに応じた雇用形態)
- ・現場職員の声を聞く機会の設定(おひさま会との協働) ・職員健康管理の充実

○効率的な施設運営の確立

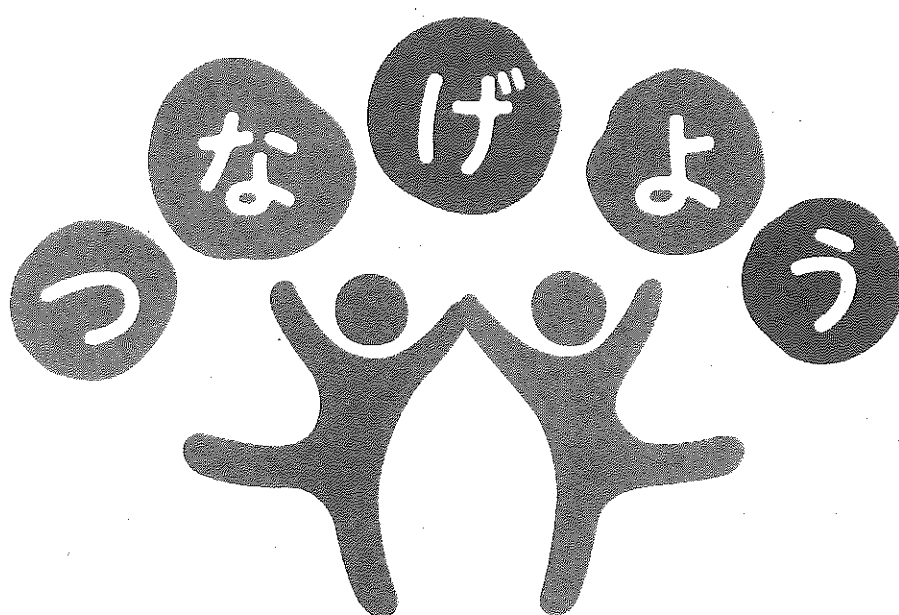
- ・おひさまネットワークを活用した情報共有と事務事業の効率化
- ・ドキュメンテーション管理の研究とペーパーレス化(デジタル化・オンライン化の研究)
- ・新しい保育管理システム(双方向)の運用、おひさまDXの研究・推進
- ・予算編成の見直しなどによる内部統制の強化と予算執行管理(スクラムリット)の活用

○保育の質の向上と おひさま保育の標準化

- ・保育指針に沿った、子どもを主体とした発達過程に応じた保育の推進
- ・卒園までに育みたい能力を意識した保育実践と小学校との連携及び円滑な接続
- ・おひさま保育園らしい保育のあり方研究とその実践 ※コロナ禍保育からの脱却
- ・子どもにとつての視点を大切にした保育の可視化と言語化
- ・子どもの健康支援と「食を営む力」(食育)の育成
- ・不適切保育の排除と研修の充実(不適切保育の法人内定義の策定)

令和6年度 事務事業計画書(案)

[事務事業執行状況]



みんなの笑顔
みんなの未来

社会福祉法人えどがわ
令和5年12月会議用

【会 議】

(1) 評議員会・理事会

・評議員会運営規程及び理事会運営規程に基づき、議案の審査及び決議を行う。

会 議 名	2年度	3年度	4年度	5年度	令和6年度計画
定例評議員会	4回	4回	4回	4回	4回
定例理事会	5回	5回	5回	5回	5回
臨時会	未開催	未開催	未開催	1回	未開催
主 な 議 案	・6月期 ① 事業報告 ② 決算認定 ・9月期 ① 事業中間報告 ② 補正予算 ・12月期 ① 事業計画 ② 給食事業者選定 ・3月期 ① 当初及び補正予算				

(注)全期……必要に応じて規程関係及び補正予算(案)あり

(2) 幹事会・各園長会

・組織規程に基づき諸会議を開催する。

会 議 名	開 催 日(原則)	参 加 メ ン バ ー
幹 事 会	毎月第一木曜日の午後	局長・次長2人・幹事園長2人 計5人
園 長 会	毎月第二木曜日の午後	局長・次長2人・全園長 計25人
チ ー ム 園 長 会	毎月第四木曜日の午後	3チームごと又は全体会として開催

【人事厚生関係】

(1) 総職員数

・各園最低1人の増員となるように、採用及び離職防止に努力する。

区 分	3年度当初	4年度当初	5年度当初	6年度計画
採 用 職 員 数	441人	440人	434人	434人
採 用	58人	42人	38人	目標±0人
退 職	△37人	△43人	46人	
増 減	+21人	△1人	△6人	

(2) 採用職員

・例年同様に8月より毎月1回の採用選考を実施、人材紹介会社の活用も継続していく。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
採 用 職 員 数	58人	43人	37人	40人
4月1日採用	53人	37人	32人	35人
年 中 採 用	5人	6人	5人	5人
うち学卒者	32人	23人	16人	
うち経験者	26人	21人	21人	
うち男性	3人	4人	2人	
うち女性	55人	39人	35人	

(3) 退職職員

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度計画
退職職員数	38人	43人	44人	40人
年度末退職	33人	33人	38人	35人
年中退職	5人	10人	6人	5人

(4) 職員の任命(昇任)

・公平公正な選考を心掛けるとともに、引続き副主任昇任選考は筆記選考とする。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度計画
園長昇任	0人	0人	2人	○副主任昇任選考 12月筆記選考 ○他は勤務実績等 による内部選考 ○副主任昇任選考 受験予定者21人
副園長昇任	3人	0人	2人	
主任昇任	3人	4人	3人	
副主任昇任	4人	8人	9人	
(受験該当者)	(82人)	(91人)	(107)	
(受験者)	(11人)	(24人)	(28人)	
上級職昇任	26人	27人	19人	

(5) 職員健康診断

・可能な限り拠点によるバス健診を継続するが、将来は全職員のセンター健診としたい。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
受診者数	613人	605人	581人	596人	※拠点方式 により5拠点 にて実施
所見あり	399人	315人	314人	336人	
再検査	187人	198人	209人	233人	
精密検査	113人	91人	100人	118人	

(6) ストレスチェック

・引続き実施し、健康リスクの低減を図る。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
量・コントロール	109	108	105	107	令和6年秋 実施予定
職場の支援	98	99	91	94	
総合健康リスク	106	106	95	100	
最大健康リスク園	135	139	123	136	
最小健康リスク園	77	76	78	69	

(7) 法人独自加入保険給付

・職員にとって更に有益な保険等はないか研究・検討を進める。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
施術給付	4件	5件	1件	1件	継続加入
給付額	456,490円	747,180円	18,750円	106,091円	
ケガ給付	3件	3件	1件	0件	
給付額	320,000円	225,130円	250,000円	0円	
コロナ	0件	73件	69件	1件	
給付額	0円	655,140円	564,525円	11,000円	

(8) 傷病手当金申請数

・申請漏れなどの確認を行うとともに、適正な申請を行っていく。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
正 規 職 員 申 請	2人	4人	6人	10人	継続加入
延 申 請 件 数	2件	11件	17件	13件	
非 常 勤 申 請	1人	2人	2人	5人	
0件	1件	4件	11件	7件	

(9) 居住地の状況(住民税納付場所)

・納税責任を果たしていく。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
江 戸 川 区	365人	371人	430人	430人	居住地の自治体に適正に納付する
江 東 区	10人	14人	11人	9人	
葛 飾 区	16人	16人	16人	15人	
他 区	9人	10人	9人	10人	
千 葉 県	50人	43人	42人	48人	
埼 玉 県	1人	3人	2人	0人	
そ の 他	0人	1人	0人	0人	

(10) 産休者・育休者及び短時間勤務者・固定勤務者

・制度周知を進めるとともに、更に使いやすい制度改正や新制度創設の研究を進める。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績
総 職 員 数	421人	438人	439人	434人
産 育 休 者	32人	38人	38人	30人
産 育 休 割 合	7.6%	8.7%	8.7%	6.9%
短時間・固定勤務者	27人	28人	37人	42人

(11) 介護休業者

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績
総 職 員 数	1人	0人	0人	1人

(12) 住宅借上げ利用状況

・社宅である旨の制度周知をするとともに、必要な届出等を勧奨していく。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	
利 用 職 員 数	144人	166人	172人	159人	
事 業 費	賃 借 料	125,689,833円	144,430,879円	163,706,995円	16,420,000円
	共 益 費 等	6,848,100円	8,135,514円	9,357,407円	9,381,500円
	総 支 出 額	132,537,933円	152,566,393円	173,064,402円	173,801,500円
財 源	補 助 金	106,602,000円	118,740,000円	131,521,000円	130,779,000円
	本 人 負 担 額	10,679,800円	16,802,800円	22,722,800円	24,321,800円
	法 人 負 担 額	15,256,133円	17,023,593円	18,820,602円	187,007,00円

【給与関係】

(1) 例月支給額

・誤支給等が無いように勤怠情報等の確認を園と本部で適正に行う。(注)各年度4月分支給実績

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績
総支給人数	396人	421人	415人	416人
給料	89,842,200円	95,194,700円	94,858,700円	96,329,400円
調整手当	10,781,064円	11,423,364円	11,383,044円	11,559,528円
処遇改善手当(率)	6,225,896円	6,653,236円	6,587,014円	6,667,120円
処遇改善手当(定額)	7,280,000円	7,740,000円	11,695,000円	11,715,000円
役職手当	4,576,490円	4,658,750円	4,807,935円	4,864,155円
総支給額	118,705,650円	125,670,050円	129,331,693円	131,135,203円
平均支給額	299,762円	298,504円	311,642円	315,229円

※令和4年2月より新処遇改善手当(月額1万円)を支給

(2) 平均年収

・公定価格や各種補助金の増減に連動した給与体系を確立していく。

区 分	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績
全 平 均	4,689,770円	4,670,966円	4,840,509円	4,897,908円

(3) 期末勤勉手当支給月数

・規程上の成績給支給が可能となるように、管理職評価基準の適正化を進める。

区 分		2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画
6月	期末手当	1.0月	1.0月	1.0月	1.0月	1.0月
	勤勉手当	0.8月	0.8月	0.8月	0.8月	0.8月
12月	期末手当	1.0月	1.0月	1.0月	1.05月	1.05月
	勤勉手当	1.0月	1.0月	1.0月	1.05月	1.05月
3月	勤勉手当	0.5月	0.5月	0.5月	0.5月	0.5月
計	期末手当	2.0月	2.0月	2.0月	2.0月	2.0月
	勤勉手当	2.3月	2.3月	2.3月	2.3月	2.3月
	計	4.3月	4.3月	4.3月	4.3月	4.3月

(注)H29年4月に支給月数+0.1月、R2年4月に期末・勤勉の支給割合変更

R6年12月に支給月数+0.1月(期末勤勉それぞれ+0.05月)

【規程類関係】

(1) 新規制定及び改正

・法律の新設及び改正や法人の必要性に応じて規程類の新設・改正・廃止を行う。

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
新設		<ul style="list-style-type: none"> ・公益通報者の保護に関する規程 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等に関する規程 ・ハラスメント防止規程 ・個人情報保護に関する基本方針 ・個人情報保護規程
改正	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(自転車保険加入義務、精励等特別手当など) ・非常勤賃金(最低賃金等) ・就業規則(多様な勤務条件) ・育児休業規程(時間単位取得、短時間勤務との併用可) ・介護休業規程(時間単位取得、賞与減額規定削除等) ・非常勤就業規則(リフレッシュ休暇新設、自転車通勤手当支給) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則(特別休暇) ・非常勤賃金(最低賃金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤賃金(最低賃金)
区分	令和5年度実績	令和6年度計画	
新設		<p>※必要に応じて新設及び改正を行う</p>	
改正	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(給与表別表1、短時間・固定勤務適用給与) ・非常勤賃金(月額賃金表) ・給与規程(ボーナス引上げ) ・非常勤賃金(最低賃金等) 		
廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・被服貸与規程 		

【研修関係】

(1) 法人必修研修

・法人研修計画(キャリアアップ計画)に従って職層別を実施する。

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画
新任	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで働く力 ・チームでのコミュニケーション ・参加者数 67人 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションのポイント ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 20人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛着」について ・参加者数 22名 ・法人理念「養護」について理解を深める。(既卒含) ・参加者 32名予定 	※研修計画に従って実施する
一般 (1~4年目)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でできる“協力” ・参加者数 172人 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手に求められる3つのスキル ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 102人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛着」について ・参加者 119名 	
一般 (5年目以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でできる“協力” ・参加者数 171人 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育と玩具について ・保育の環境づくり ・参加者 64人予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・心地よい生活環境と子どもの自発性を育む保育 ・参加者数 66名 	
リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でできる“協力” ・職場でできる“貢献” ・参加人数 158人 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子の発達支援 ・参加者 100人予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びを高める大人の関わり ・参加者数 76名 	
副主任	<ul style="list-style-type: none"> ・副主任の役割とは ・信頼マネジメント ・参加者数 101人 	<ul style="list-style-type: none"> ・副主任としての役割を考える ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 54人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切に した関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 56名 	
副園長 主任	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーについて考える ・自分について考える ・参加者数 63人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心を育てる アタッチメントの大切さ ・参加者数 34人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切に した関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 32名 	
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のあり方 ・がトラバについて ・参加者数 25人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心を育てる アタッチメントの大切さ ・参加者数 25人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切に した関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 25名 	

(2) 東京都・江戸川区キャリアアップ研修

・職層に応じた国の研修基準であり、法人も国基準に準拠して受講を進めていく。

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画
マネージメント	受講者 22人	受講者 7人	受講者 3人	※副主任(マネージメント+3講座)、 上級職1講座の 受講を目指す
乳児保育	受講者 6人	受講者 10人	受講者 5人	
幼児教育	受講者 3人	受講者 5人	受講者 5人	
障害児	受講者 9人	受講者 9人	受講者 9人	
食育・アレルギー	受講者 2人	受講者 3人	受講者 2人	
保健衛生・安全	受講者 2人	受講者 1人	受講者 0人	
保護者・子育て支援	受講者 4人	受講者 6人	受講者 4人	

(3) 外部研修及び園内研修等

・外部研修の活用や法人が時代に応じた研修テーマと講師を選定して実施していく。

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画
外部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・危機管理(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・危機管理(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・人権安全(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・人権安全(私保園長会) ・発達支援(江戸川区)
園内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理券集 ・不審者対応研修 ・パソコン研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理券集 ・不審者対応研修 ・パソコン研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理研修 ・不審者対応研修 ・不適切保育研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・園目標研修 ・不適切保育研修 ・嘔吐処理研修 ・不審者対応研修 ・各園に応じた研修
その他研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・PC研修(法人) ・気になる子研修(法人) ・交流研修(法人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・PC研修(法人) ①PC操作等 ②ウェルキッズ®操作等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・理念園目標研修法人 ・気になる子研修(区巡回・法人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・気になる子研修(区巡回・法人)

【財務関係】

(1) 予算計上状況

・年度間予算を当初計上し、必要に応じて過不足の補正予算を計上する。

区 分		令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画
収 入	当初予算	5,098,844千円	4,707,228千円	4,614,069千円	令和6年3月予算編成（3月理事会審議）
	補正1号	△57,165千円	29,340千円	4,788,607千円	
	補正2号	22,980千円	12,633千円	4,849,006千円	
	補正3号	58,510千円	14,907千円	千円	
	最終予算額	5,123,169千円	4,764,108千円	千円	
支 出	当初予算	5,172,398千円	4,573,724千円	4,542,732千円	
	補正1号	147,740千円	102,978千円	4,848,412千円	
	補正2号	30,795千円	56,220千円	4,757,808千円	
	補正3号	27,584千円	34,772千円	千円	
	最終予算額	5,378,517千円	4,767,694千円	千円	
差 引	当初予算	△73,554千円	133,504千円	71,337千円	
	補正1号	△204,905千円	△73,638千円	△59,805千円	
	補正2号	△7,815千円	△43,587千円	91,198千円	
	補正3号	30,926千円	△19,865千円	千円	
	最終予算額	△255,348千円	△3,586千円	千円	

(注)令和3年度予算…基金の積みなおしを実行

(2) 決算状況

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
収入総額	5,150,202,667円	4,869,254,102円	4,804,432,287円	※令和6年6月 評議員会にて認定
支出総額	5,245,505,494円	5,024,012,772円	4,675,055,351円	
収支差額	△95,302,827円	△154,758,670円	129,376,936円	
実質収支 差 額	364,697,173円 ※積立460,000,000円	55,241,330円 ※210,000,000円 他に大規模改修205,000千円	244,376,936円 ※積立115,000,000円	

(3) 積立金の状況

・不測の事態や将来のために適正な範囲で資金積立を行う。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度	
前期末積立金	1,613,145,920円	2,082,000,000円	2,074,000,000円	※令和6年3月 補正予算計上予定	
今 期 増 減	積立金	468,854,080円	210,000,000円		115,000,000円
	取崩し	0円	△218,000,000円 ※3 園大規模改修工事費充当		0円
今期末積立金	2,082,000,000円	2,074,000,000円	2,189,000,000円		

(4) 財務分析

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
流動比率	240.3%	215.4%	257.6%	※令和6年6月 評議員会にて認定
純資産比率	81.5%	83.7%	85.2%	
人件費率	60.2%	62.3%	62.4%	
委託費率	10.3%	10.8%	10.5%	
人件費率+委託費率	70.3%	73.1%	72.9%	
固定長期適合率	83.3%	87.8%	84.6%	
経常活動収支差額率	8.9%	5.3%	5.0%	
労働分配率	78.8%	82.7%	82.5%	

(5) 仮払い・小口現金

・必要最低限な現金管理となるように各園と協議の上、改善を図っていく。

区 分		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度 (11月)
仮 払 い	執行件数	149件	185件	146件	269件
	執行額	2,569,674円	2,547,400円	2,477,023円	4,609,600円
	1件単価	17,246円	13,770円	16,966円	17,136円
小 口 現 金	執行件数	81件	69件	51件	51件
	執行額	3,370,000円	2,846,000円	2,282,000円	2,198,000円
	1件単価	41,605円	41,246円	44,745円	43,098円

【監査関係】

(1) 江戸川区指導検査

・江戸川区児童福祉施設等指導検査実施要綱に基づき毎年全園が検査を受ける。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
実施園数	未実施	予定 15園 実施 4園	予定 23園 実施 23園	※全園 実施予定 12月12日～ 1月30日
文書指摘事項		指摘 1園 毎月の消火訓練	指摘 2園 毎月の消火訓練 毎月の避難訓練等	
備考		令和4年1月 実施 ※コロナにより中断		

(2) 法人巡回監査

・会計処理の適正化や財務規律の強化を図るため年2回、全園巡回監査を実施する。

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
第一回目	9月24日～10月15日	9月27日～10月18日 (注)コロナのためオンライン監査	10月3日～10月19日 対面式	11月15日～12月13日 対面式
第二回目	12月1日～12月7日 (注)コロナのためオンライン監査	11月15日～12月15日 (注)コロナのためオンライン監査	11月15日～12月13日 対面式	11月14日～12月12日 対面式
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産関係 クレジットカード、切手保管 小口現金、公印管理 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情処理、標準化 おひさまの魅力発信 勤務ソフト(超過勤務) 	<ul style="list-style-type: none"> 園の特長付け 固定資産台帳等管理 現金等管理など 	<ul style="list-style-type: none"> 現金等管理 財務諸表 勤務シフト等

(3) 会計監査人監査

・年1回の決算期に法定監査人である会計監査人監査を受け、評価を得る。

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
実施状況	令和3年5月24日 延44日	令和4年5月23日 延44日	令和5年5月24日 延44日	※決算確定後 監査実施予定 (令和6年5月予定)
監査結果	無限定適正	無限定適正	無限定適正	
備考	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	

(4) 監事監査

・年1回の決算期に法人監事の監査を受け、評価を得る。

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度
実施状況	令和3年5月24日	令和4年5月23日	令和5年5月24日	※決算確定後 監査実施予定 (令和6年5月予定)
監査結果	正しいと認める	正しいと認める	正しいと認める	
備考				

【保育園運営】

(1) 年齢別在園児数(年度当初)

・地域の保育ニーズ、施設現況及び配置職員等を勘案し適正な利用定員を設定していく。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	
利用定員	2,912人	2,912人	2,871人	2,837人	
在籍状況	1歳児	496人	484人	483人	476人
	2歳児	560人	553人	542人	540人
	3歳児	618人	571人	553人	550人
	4・5歳児	1,281人	1,191人	1,160人	1,131人
在籍児童の計	2,912人	2,799人	2,738人	2,697人	
児童在籍率	98.3%	96.1%	95.4%	95.1%	

(2) 特別保育事業(年度当初)

・課題となっている延長保育の利用者減と一時保育の再開について研究・検討を進める。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
延長保育	321人	248人	201人	187人
一時保育	※平成30年より休止中			

(3) アレルギー食と宗教食

・医師の指示書により適正な提供を心掛ける。

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
アレルギー食提供	126人(4.40%)	111人(3.97%)	83人(3.03%)	84人(3.11%)
うち弁当持参	2人	1人	1人	0人
宗教食提供	8人(0.28%)	9人(0.48%)	14人(0.51%)	21人(0.78%)
うち弁当持参	0人	1人	4人	3人
計	134人(4.68%)	120人(4.45%)	97人(3.54%)	108人(4.00%)
投薬のため除去提供	2人	0人	1人	1人
家庭の事情	0人	1人	0人	0人
障害児(びん症)	2人	0人	0人	1人

(4) 障がい児保育と気になる子

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
障がい児(認定児)	67人(2.34%)	78人(2.79%)	73人(2.67%)	72人(2.67%)
気になる児童	36人(1.26%)	38人(1.36%)	67人(2.44%)	127人(4.71%)
計	103人 (3.60%)	116人 (4.15%)	140人 (5.12%)	199人 (7.38%)

(5) 第三者評価と利用者調査の実施状況

・3年毎に第三者評価、利用者調査は毎年実施し、保育の質の向上を図る。

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
第三者評価	5園	11園	7園	5園
利用者調査	18園	12園	16園	18園
平均満足度	93.6%	92.8%	92.9%	集計中

(注)満足度は、五段階評価の「大変満足」と「満足」を加算した率

以下、必要に応じて追加・修正・削除をしていきます。

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20人	24人	35人	70人		149人
受入可能数	18人	24人	26人	26人	26人	120人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・日頃の関りの中で、保育士が見本になり、様々な感謝の気持ちを持つことで相手の思いやる心を育てる。(元気な挨拶、笑顔、感謝の言葉)
- ・小さな事でも、子ども達の姿を見て丁寧に「ありがとう」の気持ちを言葉で伝える。生活をしていく中で「ありがとうの言葉」に喜びを感じ自ら伝える大切さを知る。
- ・「食べる」「遊ぶ」「人との関り」の中に幸せがある事を感じられるよう、食育活動や遊びの幅を広げわくわく、どきどきする体験を取り入れていく。

《やってみようのころ》

- ・本物に触れる体験や、子ども達の「やってみたい」気持ちに対応できる環境作りを行う。(季節の行事、感触あそび、栽培、様々な素材等)
- ・各クラスの保育環境と玩具の見直しを行い、年齢にあった環境作りを行う。
- ・子どもの行っている事に対して肯定的にとらえていき、やってみようと思える気持ちが少しでも持てるようにしていく。
- ・子どもの発見や気付きに対し、保育士も心から寄り添い、保育士自身が保育を楽しんで行う。

《かんじるころ》

- ・日常生活の遊びの中で五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚)を刺激し、表現力や想像力を身に付け豊かな心を育てる。
- ・1日1日を大切に、好きな遊びを夢中になって遊ぶ。子どもの気づき・つぶやき・感動に寄り添い共感し、その子らしさの世界を広げていく。
- ・人への思いやりの気持ち、友だちとの関り、自分らしさを大切にする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・今年度から始めたドキュメンテーションを来年度も続けていく。新しくなる保育目標に合わせながら、保育園の様子を(写真、動画)を取り入れ伝え理解して頂く。
- ・第一印象が大切(誰にでも笑顔・明るく挨拶・丁寧な対応)を行い園内の雰囲気をよくする。
- ・子育てひろばの内容の検討。地域や保護者の方が参加したい魅力のあるひろば。
- ・行事のアンケートは毎年実施しているが、保護者の思いや意見に耳を傾け改善できるようアンケート等を利用して風通しを良くしていく。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・日除けネット、プールカバー、砂場カバーの更新
- ・園庭の子ども通り抜けられる場所の対策隅の対策(安全対策)
- ・4歳児クラスの机、椅子更新
- ・3歳児クラス教育用ピアノの更新
- ・木の植樹(実のなる木)

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20人	23人	23人	46人		112人
受入可能数	20人	20人	20人	20人	20人	100人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのこころ》

- ・保護者との会話を大切にし、子どもを取り巻く環境を把握していく。
- ・相手に対する思いやりや優しさを持てるよう、状況を見極めながら丁寧に関わっていく。
- ・縦割りの交流を持ち、思いやりの気持ちを育む。
- ・気持ちの良い挨拶を交わし、感謝の気持ちを言葉にしていく。
- ・SDGsを通して、自分を取り巻く環境の背景に気づき感謝の気持ちを育んでいく。

《やってみようのこころ》

- ・戸外遊び、リズム、散歩など安全に伸び伸び遊び、子どもが遊びを選択しながら楽しめる環境づくりを心掛け、子どもの探求心や好奇心を育む。
- ・一人一人の発達に応じた関りを大切にし、子どものどんな姿も理解し認めていけるような心の余裕を持つ。
- ・優しい言葉掛けやスキンシップを心がけ、愛着関係を築き安心して過ごせるようにする。
- ・様々な活動の中で失敗を恐れず、粘り強く取り組む活動を取り入れていく。

《かんじるこころ》

- ・活動を通じて子ども自ら遊びを展開できるよう、それぞれの活動の時間をしっかり確保する。
 - ・自分の思いを伝え、相手の思いにも気づいて共感し合えるよう、子どもから出るつぶやきを大切に
- する。
- ・じっくり遊び、しっかり食べ、日々の生活リズムを大切にして健康な心と身体を育む。
 - ・絵本の読み聞かせや、歌などから豊かな感性を育む。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・お年寄りや近隣の人との交流の機会を増やしていく。
- ・子育てひろばの内容と宣伝方法の見直し
- ・職員同士が持っている力を発揮し、互いを認め合いながら和気あいあいと働ける関係をつくり、園内外での気持ちの良い挨拶を心掛ける。
- ・HPの充実。教育活動(英語、体育)、行事以外にも子どもたちの生き生き活動する姿を掲載。園内でのイベントの様子を積極的にアピールしていく。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・4歳児クラスの園児椅子、3歳児クラスのテーブル購入。(経年劣化の為)
- ・音響用アンプの購入。(突如音がでなくなる為)
- ・事務所の書庫(経年劣化の為)

令和6年度 東小松川 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	12人	18人	22人	48人		100人
受入可能数	17人	22人	23人	24人	24人	110人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・保育士が、日常生活の中で「かんじるころ」を大切に、場面に応じて皆が笑顔になれるよう「ありがとう」をことばで伝え、その心地よさに気づき感謝の気持ちを持てるよう心がける。
- ・人との関わりの中で、他の人の存在を意識できるように促す。

《やってみようのころ》

- ・職員一人一人が、保育の視野を常に意識し合う。
- ・保育士がわくわくする気持ちを大切に色々な事をやってみようとする心を育む。
- ・大人や友達と、温かい関わりの中で自信に繋げ自分も「やってみよう」と言う気持ちを大切にする。
- ・見通しを持ち、「やってみよう」の気持ちが芽生えるように環境作りをしっかりと行い、発達に応じた体験が出来るように活動内容を工夫、準備する。

《かんじるころ》

- ・様々な体験を通して思いやり、勇気、優しさ、感動等を共有し友達との関わりを大切にする。
- ・のびのびと表現出来るよう環境に配慮しながら豊かな心を育てる。
- ・自分らしさを大切に、異年齢交流を通して個々様々な感じ方がある事に気づくように促す。
- ・園庭等の木々や川の流れ、鳥の気配等、四季を感じながら自然に触れ五感を感じられるような体験。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・子育てひろばの参加者一人一人に支援が出来るよう、コミュニケーションを図ると共に子育てひろばの充実、内容の検討を行う。(保護者同士が声を掛けやすい雰囲気作りを行う)
- ・園見学時は、少人数で保育園の運営や保育に対し熱い思いを伝える。
- ・在園保護者の方に保育活動や保育士の思いを写真や動画お便り等を使い伝えて行く。又一般の方には、HPブログで保育園の活動を伝え、保育園に対しての理解を得る。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・園庭側入り口扉の改修
- ・和便座を洋便座(温便座)に改修
- ・園庭倉庫の更新

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	22人	25人	27人	56人		130人
受入可能数	22人	26人	28人	26人	28人	130人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・挨拶、感謝を言葉で伝え、思いやりの心が持てる様に伝えていく。
- ・対話を大切にし、遊びや生活を通して言葉を引き出し、人と関わる力を身に付ける。
- ・食育の充実(栽培、調理、健康、マナー、食文化、食のバランス等)で食への関心と感謝の気持ちを育てる。
- ・一人一人の誕生日を友だちと一緒に祝い、共に成長を喜び、命の大切さに気付けるようにする。
- ・様々な年齢や立場の方(地域・小中学生・ボランティア・高齢者・施設の方等)と関わることで、周囲の人々を受容する心を育てる。

《やってみようのころ》

- ・自分らしく過ごし、興味を刺激する空間を作ると同時に、遊具・環境の見直しをする。
- ・年齢に合った様々な種類の絵本や子ども自身で調べることのできる図鑑等充実させ、じっくり楽しめる時間を大切にする。
- ・子どもの問いに耳を傾け、興味に向かってやってみたい・どうしよう・もっもっの思いと、わくわく感を一緒に楽しみ、好奇心や考える力、想像力、集中力を養う。
- ・身体を動かす活動を充実させ、体力を向上させる。身体を刺激すると同時に、満足感や達成感を感じて自信が持てる様に支援する。

《かんじるころ》

- ・季節の移り変わり(行事・食育・戸外活動・散歩・絵本・植物・虫との触れ合い)で、五感を刺激して自然に触れる機会の充実を図る。
- ・好きな遊びを見つけ、様々な事柄をおもしろがり、探求心・気付き・発見を経験し、豊かな表現を楽しむ。
- ・思いや気持ちを言葉にして伝え、様々な思いがあることに気付き、分かろうとする。
- ・感情を調整する力を身に付ける。
- ・本物に触れる機会の充実(英語・クラシックコンサート・野菜栽培や収穫・水族館や博物館の見学)で感性を刺激する。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・在園の方、地域の方とのコミュニケーションを心掛け、職員が意識をして笑顔で挨拶をする。保護者の状況を理解し「思いやり」を持って保護者支援するチームとなる。
- ・安全と安心が提供できるよう、施設管理と安全管理に努める。
- ・職員は保育の振り返りを定期的に行い、園内研修等で思いを共有する。
- ・「出張☆子育てひろば」から園に足を運んでもらえるように働きかけ、保育園を知ってもらうきっかけを作る。
- ・日々の「わくわく」を様々な媒体で園内外に発信して、子どもたちが日々感じている様子を分かり易く伝えることで、保育内容を理解してもらう。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・1歳児2クラス環境設定(入口のゲート・排泄コーナー)
- ・2歳、ホールの非常扉の鍵取り付け
- ・業務用冷凍冷蔵庫更新
- ・エアコン除菌ユニットフィルター交換、整備

令和6年度 北葛西 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	24人	27人	31人	62人		144人
受入可能数	22人	25人	27人	28人	28人	130人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・全ての物事に思いやりや感謝の気持ちをもてる、素直な気持ちを育めるように、保育士自身が生活や遊びの場面で適した言葉を表現として伝えていく。
- ・保育士が率先して「ありがとう」「おはようございます」等の感謝の言葉や挨拶を伝え、その言葉の持つ心地良さに気づけるようにしていく。

《やってみようのころ》

- ・探求心や好奇心からの発見や疑問に気づき、保育士と一緒に共感し活動や遊びを発展させていく。
- ・自ら行動しようとする子どもの思いや、意欲を生かせる様な環境を考え、整える。
- ・小さな失敗を繰り返しながら、できた事、頑張った事を誉め、大きな達成感を味わい、次の意欲へと繋げていく。
- ・失敗を怖がる事無く、挑戦できる気持ちを培える保育環境を考えていく。

《かんじるころ》

- ・日々の保育の中での「見る」「触れる」「臭いを嗅ぐ」等を通して感覚の原体験を行い、想像力や豊かな感情、興味関心を深め自分の思いを伝えられる様にしていく。
- ・食育活動を通して植物の生長を楽しみ命の大切さへと繋げていく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・子育てひろばだけに限定せず、散歩の際に出会った親子に声かけして、一緒に遊ぶ機会を作り、保育園を身近に感じてもらう。
- ・子育てひろばの新聞等を持ち歩き、保育園を知ってもらう媒体にする。
- ・散歩等の戸外活動の際に、保育士が笑顔で楽しそうに子どもと関わっていることが、良好な人間関係と質の良い保育の提供ができると認識する。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・保育室の環境のレイアウト変更に伴う棚の新規購入。
- ・屋上防水改修に伴い、屋上固定遊具の更新。

令和6年度 葛西第二 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	21人	24人	26人	53人		124人
受入可能数	20人	20人	20人	20人	20人	100人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・保育士が率先して 生活の中の様々な場面で挨拶を心掛ける。
- ・挨拶をすることで親しみを持ち、大好きな人がいる事や自分を大切に思ってくれている人がいる事に気づき、関わりのある物、出来事を大事に思ったり、ありがたいと感じ、思いやり「ありがとう」と素直に言えるようになる。

《やってみようのころ》

- ・保護者や保育士との愛着関係を土台にして成長に合わせた環境の中で、意欲的に遊び、生活できるようにする。
- ・様々な経験の中で、上手いいかないときにも挫けず、また向き合い、しなやかに乗り越える力や心を身につけることで、意欲的に「やってみよう」と思えるようになる。

《かんじるころ》

- ・暮らしの中で環境に直に触れたり実際に体験し、五感を存分に使う。その中で生まれる感覚を大切ににする。
- ・心情・感情・発想は各人のかけがえのないものであり、素直に表情や絵画、音楽それぞれの方法で思う存分表現することで、大人、子ども共に各自の良さを大切に「かんじる」ようになる。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・理念・保育目標に基づいた保育とは？と日頃の保育を振り返り考える。保育園内で目標を共有することで、職員が成長し続け、職員間で挨拶やあたたかい言葉が広がる。～働きやすく居心地の良い雰囲気作り～
- ・保育目標に基づく日常の保育を、地域や保護者に説明共有し伝える。(お便り、ホームページ、保護者会、掲示板)～園の良さを伝える広報～
- ・清潔で安全な環境を作る～のびのび遊ぶ為の設備の管理～
- ・子育てひろば、出張☆子育てひろばの内容の充実を図る～また来たいと思うような未就園児対応～
- ・社会福祉法人の責務を全うし、保育に携わるものであることに誇りを持つ。～地域の中の保育園になる～

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・全クラスサッシの改修(開け閉めが重い)
- ・ゴミ捨て場フェンスの改修
- ・園庭物置の更新、避難車の更新(経年劣化)

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	24人	27人	34人	72人		157人
受入可能数	22人	25人	31人	31人	31人	140人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・全ては、「挨拶から始まり、挨拶で終わる」の言葉通り、相手の顔をしっかりと見ながら挨拶を交わすことの大切さを伝えていく。
- ・相手の気持ちに気付き、思いやりを持って接することができるよう、積極的な取組と、状況に応じた見守りや声掛けを行っていく。
- ・自分の思いを言葉に表現し、相手に感謝の気持ちを伝えることができるよう、生活のなかで積み上げていく。

《やってみようのころ》

- ・あらゆる物事に興味や関心が持てるよう、自然や生き物に触れる機会や環境を整え、様々な経験を重ねていく。
- ・体育遊びにおいて、身体運動の経験値を高め、次へチャレンジしようとする気持ちを育てていく。
- ・異文化に触れることにより、楽しみながら異文化への興味や関心が深められるようにする。
- ・結果にとらわれず、それまでの頑張りや気付きを大切に、認め合える関係づくりに努めていく。

《かんじるころ》

- ・成長過程において、五感を意識した設定や環境を整えていき、経験を積重ねていく。
- ・見たり聞くことで、生まれる心の動きを言葉や身体で表現できるよう働きかけることを大切に心掛けていく。
- ・常識や先入観に囚われず、子どもの言葉や表現を受け止め、子ども達の自由な感性を伸ばせるよう努めていく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・子ども達や職員が笑顔で生活している様子を、保護者や地域の方々に感じていけるよう努める。
- ・子どもの命を守るための安全対策の強化
- ・事故や怪我に対する対策や、事例からの振り返りと今後の対策
- ・保護者の気持ちや家庭状況を理解した援助
- ・地域の子育て親子への積極的な挨拶や声掛け
- ・出張子育てひろばの実施において、支援活動の拡充を図る

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

乳児クラス(1歳・2歳) 空調機更新
乾燥機 経年劣化による更新

令和6年度 東小岩 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	17人	20人	23人	50人		110人
受入可能数	18人	18人	18人	18人	18人	90人

1. 保育目標の具体的な取組内容

<p>《ありがとうのこころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな3つの保育目標を職員自身の心とこどもの心に浸透させるところを初めの1歩とする。 ・1日の中で挨拶と感謝を意識する。どのような感謝が生活の中であるのか、挨拶の場面では様々な挨拶にどのような心が込められているのか等を職員間で確認し合い、強制ではなく子どもの心から生まれてくる挨拶や感謝を引き出していけるようにする。 ・気づきや思いを持ち寄る場を昼礼とし職員間で共有する。
<p>《やってみようのこころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の中でわくわくする事を見つける事ができ、わくわくを追いかけられる環境の保障を大切にす ・様々な体験をする機会のある保育内容(好奇心の入口)、やってみたいを存分に探求できる時間が保障されている保育設定(探求心への援助)、室内の遊び環境の見直し(玩具の選定)、を意識し、保育に取り入れ、子ども達のやってみようのこころを育てていく。 ・取り組みや気づきを持ち寄る場を昼礼とし、職員間で刺激し合い職員自身のやってみようの、こころも育てていく。
<p>《かんじるこころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に恵まれた環境を活かし、季節の移り変わりで感じる事の出来る体験を存分に保育に取り入れる。 ・日常に散りばめられている小さな事柄を子どもと一緒に拾い上げ、子どもの発した言葉を大切に受取り丁寧に返していくことを軸に感性を育てていく。 ・職員自身が感性を研ぎ澄まし、生活の中で五感を丁寧に感じとる習慣を身に付けていく。 ・心に届くような言葉に置き換えられる感性が向上するように気づきを持ち寄り職員間で研鑽を積んでいく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から選ばれる保育園づくりとして、新規入園希望へ繋げる架け橋として子育てひろば(出張☆子育てひろば)の見直し。子育てひろばの周知方法 内容の充実(リピートを増やす) ・職員から選ばれる園づくりとして、風通しのいい風土、職員が話し合って決定し進むという場面をより多く積み重ね、主体性をもって仕事に向き合えるチームにする。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

<ul style="list-style-type: none"> ・避難車の更新(経年劣化)

令和6年度 西篠崎 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20人	23人	25人	52人		120人
受入可能数	20人	24人	24人	25人	21人	114人

1. 保育目標の具体的な取組内容

<p>《ありがとうのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の関わりを通して、たくさんの人に支えられて過ごしている事に気付く。大人や、友達の存在に守られていることを感じ、「ありがとう」や思いやりの気持ちを育てていく。 「ありがとう」や「ごめんなさい」、「好き」などを素直に言えるよう過ごす。 「いただきます」等の挨拶を通して、命のありがたさを感じ、生き物に感謝の気持ちを持てるようにする。
<p>《やってみようのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> やってみようと思った事に対して気づいて、褒めていく。 子どもが、面白そうと感じた事をすぐにやってみる環境をつくる。 異年齢の関わりを通して、年上の児がやっている事をやってみたいと感じる憧れを大切にし、出来るできないではなく、まずはやってみようと思う気持ちを大切にする。
<p>《かんじるころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を愛し、情緒が豊かになる。好きという感情が沸きおこり、学んでいく。 散歩で見つけた木の実や草木を調べたり、園庭にある柿を収穫して干し柿を作ったりと、実体験として自然に触れられる自然豊かな環境を十分生かし、保育をする。 給食の食材など興味を持って調べる。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

<ul style="list-style-type: none"> 保育園をさらに知ってもらう取り組みを行う。(園児管理システム、ブログ等の活用、動画配信) 継続的な家庭支援の継続(子育てひろば、保育士体験等) 保育内容の充実(園内研修等を通しての職員同士の学び合い) 保育環境の定期的な見直し
--

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

<ul style="list-style-type: none"> 1歳児クラス園児用机の更新 園内換気用空調フィルター交換

令和6年度 西小岩 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	27人	30人	35人	73人		165人
受入可能数	27人	30人	31人	31人	31人	150人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・日常生活で使う挨拶の大切さや意味を知り、しっかりと相手に気持ちが伝わる挨拶ができるよう伝えていく。
- ・異年齢児やお年寄り、動植物等に関わる機会を増やし、労わる気持ちや感謝の気持ち、優しい気持ちが育む事ができるよう積極的な仲介等を行っていく。
- ・「自分の気持ちをしっかりと相手に伝えたり」「相手の気持ちや言葉を最後まで聞き、理解しようとする気持ち」が育つよう助言や指導を行っていく。
- ・「物」を大切にする気持ちや「食」に対しての感謝の気持ちが育むよう伝えていく。

《やってみようのころ》

- ・体育遊びを主として日頃の保育の中で身体を動かす機会を増やしていく。
- ・様々な体験を積極的に行い、その中で創意工夫や創造性が養える機会を増やしていく。また、直ぐに諦めることなく、最後まで行い、出来た喜びや達成感が味わえるよう、意欲が持てるよう個々に合った声掛けをしていく。
- ・英会話を通して楽しく異国文化に触れ、国際感覚豊かな子となるよう配慮していく。

《かんじるころ》

- ・五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を刺激した保育を進めていく。
- ・情感を刺激し、感情(喜怒哀楽)表現が素直に出せるよう子どもの気持ちに共感できるよう務めていく。
- ・「これをやったらどうになってしまうのか」等の良し悪しや予測が想像できるような声掛けや配慮をしていく。
- ・四季折々の自然に触れ、季節を感じる事が出来るよう日頃の遊びや散歩、行事や製作等の中で声掛けをしていく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・「安心・安全・信頼・協力」のもと、心のこもった温かい保育を進めると共に園児の事を第一に考えた保育を実践し、職員会議等にて確認していく。また、根拠のある保育と保育士の質の向上(園児達をまとめる力、コミュニケーションを深め、日々の登降園での声掛けを行っていく)
- ・防災防犯、事故怪我(特に園児の行動把握と登降園の確認)感染症、情報漏洩、園前での交通事故など危機意識を持ち馴れ合いを無くしていく。
- ・在園保護者への信頼と当園の特色(体育遊び等)を活かし体力向上に努めた保育を進めると共に子育て支援施設としての役割(子育て広場等)を遂行し、入園希望者に向けてのアピールを行う。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・ホール暗幕(舞台幕)の新設
- ・経年劣化に伴う洗濯機、乾燥機の更新

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	17人	20人	25人	54人		116人
受入可能数	17人	20人	23人	25人	25人	110人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのこころ》

- ・気持ちのよい挨拶が出来る。素直に感動できる。生活そのものを楽しんでいくような保育園生活を作る。
- ・自分の気持ちが伝えられること、相手の気持ちを分かり合えるなど友達とのかかわりが深まるような細やかな保育を展開していく。
- ・人との関わりや出来事、物や食材に触れ素直に感じたり感謝の気持ちを持てるよう日々の言葉のやり取りを大切に関わっていく。

《やってみようのこころ》

- ・個性や発達の特性を深く理解し、発達や年齢にあった遊びや取り組みを計画していく。また、意欲をもって取り組めるよう援助していく。
- ・子ども達が保育室に入ったときに「今日は何して遊ぼうかな?」とワクワクするような環境を工夫し整えていく。
- ・環境に合わせ遊具の見直し教材の充実を図っていく。

《かんじるこころ》

- ・日常の丁寧な保育の積み重ねとして行事を計画し、目標を持った取り組みをすることで、一人一人の子供やクラス集団が高まっていくような保育を目指す。
- ・表現することのよさ、出来たときのうれしさや達成感を共感しあい、メリハリのある生活を楽しめるようにする。
- ・「よく食べ、よく遊び、よく眠る」子どもの生活を大切にしていく。保護者の方と共に生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身に付けていく。個々の子どもを受け止め、子どもがそのことを実感して過ごせるよう信頼関係を作っていく。
- ・保育園生活の中で喜怒哀楽を感じ、言葉を交わしながら豊かな感情と思いやりを育てていく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・日々の丁寧な保育と職員の笑顔での関わりで安心感と暖かい雰囲気づくりを心がける。
- ・保育活動の充実。体操、英語の取り組み。
- ・保育室の環境設定、玩具の充実。
- ・保護者や外部に向けて日々の日常活動の配信。
- ・地域との交流として「出張☆おひさま子育てひろば」の実施。
- ・保護者支援とし細やかな声がけと時には面談の時間を確保、保護者の居場所づくりを心がける。
- ・職員間の連携の強化として、コミュニケーションをとり職員同士が思いやりの気持ちを持ち、明るい雰囲気を作る。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

なし

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	18人	26人	30人	62人		136人
受入可能数	20人	22人	25人	26人	27人	120人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのこころ》

- ・あたたかい環境の中、様々な優しさに触れることでありがとうの心を育む保育。
- ・様々な人との関わりの中、豊かな心を育み気持ちを素直に伝えられる保育。

《やってみようのこころ》

- ・やりたい、やってみたい、やってみようの気持ちが実現できる保育。
- ・いろいろなものに触れ、探索することで、わくわくの種を発見し、子どもたちが夢中になれる環境の保育。
- ・わくわくの種から好奇心と探求心が芽生え、豊かな感性を大切にし、やってみようの心を育てる保育。

《かんじるこころ》

- ・四季を感じる事が出来る環境の中、沢山の自然に触れ、遊びを通して季節の移り変わりや季節を感じられる保育。
- ・植物や生き物に触れ、生命の大切さに触れることのできる保育。
- ・様々な人、もの、ことに触れ、五感の育ちと豊かな感性を大切にする保育。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・温かい雰囲気の中、保護者の気持ちを傾聴・共感し、保護者の伴走者になる子育て支援
- ・出張☆おひさま子育てひろば、子育てひろば等、地域の保護者と積極的に触れ合う子育て支援
- ・チャレンジザドリーム・実習生やボランティアなど学生との関係を作り、未来の保育士育成
- ・子どもを真ん中に、笑顔も一緒に、助け合いも一緒にのチーム保育

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・職員門から園舎脇通路の柵新規設置
- ・防災倉庫新規購入

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	20人	23人	28人	58人		129人
受入可能数	21人	23人	24人	26人	26人	120人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・職員が手本となり、進んで挨拶をしたり、感謝の気持ちと伝える。
- ・思った事や感じたことを、自分なりに言葉で伝える環境づくりをする。
- ・子どもたちのありのままを受け止め、認め、子どもの良いところを見つけ伸ばす。
- ・生活の中で互いに助け合ったり、協力しながら過ごす。
- ・絵本を通して様々な気持ちを育み、食育活動では、食べる事や食べ物の大切さと感じる取り組みをする。

《やってみようのころ》

- ・子どもたちのやってみたい、知りたいに寄り添い、一緒に考えたり調べたり、挑戦したりする。
- ・子どもの声を聞き逃さず、日々の保育の中で、子どもたちと一緒に不思議に思ったり、それを楽しんだりする。
- ・自分にもできる、やってみようとする気持ちを、異年齢や友達同士の関わりの中から育て、失敗することも経験し、その経験からまた挑戦してみようと思う心を育てる。失敗することも大切な事だと職員自身も認識する。
- ・やりたいことや気になる事を、相談発信ができ、保育士がやりたいことができることで、保育の幅を広げる。

《かんじるころ》

- ・五感を刺激する遊びを取り入れる(造形遊び等、様々な素材を使い制作をする等)
- ・散歩に出かけ季節の移り変わりを感じたり、職員が自ら感性を働かせ言葉にして伝える。
- ・泥んこ遊びや雨の日の散歩など季節ならではの遊びを保育に取り入れる。
- ・室内に季節の花を飾ったり、園庭で植物を育て、見たり、嗅いだり触れたりし、実体験が出来る環境を作る。
- ・相手の気持ちに気づけるような言葉かけや互いの気持ちを尊重し感じたりできる機会をつくる。
- ・自分の気持ちを感じたり、考えたり、それを言葉にして伝える体験をする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・園舎の安全対策、安心して預けられる環境、職員の対応(ケガや事故への対策や対応など)
- ・職員がいきいきと、楽しんで保育を行う姿や、子どもたちが夢中になって遊ぶ姿をブログ等で発信すると共に、保護者との信頼関係をつくり、保育園行事などに積極的に参加してもらおう。(読み聞かせや異国文化の伝承など)
- ・地域の子育て支援として子育てひろばの内容を検討いつでも来られる保育園づくりをしていく。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・非常用階段の塗装
- ・ホールの壁紙の貼り替え

令和6年度 小松川 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	24人	25人	27人	53人		129人
受入可能数	18人	20人	20人	21人	21人	100人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・「ありがとう」を伝える場面について話し合い、保育者が自ら「ありがとう」と人や物に感謝を伝え合う環境を作ることで、保育園の文化となり、子どもたちにも繋げていけるようにする。
- ・食育活動を通して食べ物を頂くことへの「ありがとう」を感じ、味わい、実感できるようにする。
- ・日常生活の中で、お互いのコミュニケーションが深められる挨拶や言葉を、保育者が大切にしていくことで「ありがとうのころ」が育つ土壌を作る。

《やってみようのころ》

- ・保育者は子ども達を可愛がり、子ども達は自分の思いを素直に出し、それを受け止められることで、周りの大人への信頼関係を築くことが出来る。その関係の下で「やってみよう」のころを育てていく。
- ・保育環境で子どもたちが「これをやりたい」という環境を、年齢やその子の育ち(バックボーンも含め)保育者の願いなどを考慮して提供する。
- ・わくわくの種を保育者が見つけ、子どもたちと共有し、子どもたちが自らわくわくの種を見つげられるよう援助していく。

《かんじるころ》

- ・子どもが安心して、五感を磨くことが出来るよう、一人一人が「自分は大切にされている」「愛されている」ことが実感できる保育をしていく。
- ・遊びや生活を通して、大人と関わりを持ち、人間関係や社会生活の基礎を体験できる場になるようにする。
- ・日々の遊び(散歩も含む)や生活の中に、自然事象に沢山触れられる機会を設け、子どもたちが持つ五感を伸ばす保育をする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・園全体が温かく保護者、子どもたちを大切に作る風土を作る。
- ・日頃の保育のエピソードを保護者に伝え、「子どもを大切にしている」と保護者が実感できるようにする。
- ・子育て支援は親支援と言われているので、保護者が笑顔になれるようなコミュニケーションをとる。
- ・子育て支援を充実させ、地域の子育て支援の拠点となることで未就園児時代から園に慣れ、親しみでもらい入園へと繋げられるにする。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・保育室 壁紙張替え
- ・乳児用プールの購入

令和6年度 南葛西 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	16人	23人	25人	54人		118人
受入可能数	18人	22人	22人	22人	22人	106人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・職員が率先して気持ちの良い挨拶、丁寧な言葉がけを行うことで、言葉で思いが通じ合う喜びや伝える意欲を育む。
- ・安定した人間関係を築き、生活する中で子どもの心の豊かさを育み、感謝の気持ちを言葉や動作で伝えられるように関わっていく。
- ・子どもの様々な感情を受け止め、丁寧に関わり、自己肯定感を育み、人への思いやりが身に付くように関わっていく。

《やってみようのころ》

- ・様々な遊びが自主的に経験できる環境を整えていく。子どもたちが、自身の遊びや様々な事柄を自ら選択できる機会を提供し意欲や達成感が味わえるように寄り添っていく。
- ・挑戦しようとする気持ちを大切にし、難しさを感じるところは一緒に行ってみたり、励ましたりしながら継続して行えるように援助していく。

《かんじるころ》

- ・戸外遊びや散歩で、身近な自然に触れる機会を多く取り入れ豊かな感性を育む。
- ・生活や遊びの中で相手の思いに気付き、共感しあえる気持ちを大切にする。
- ・栽培活動を通し、植物が成長していく喜びや楽しさを感じる。
- ・運動会や発表会などの行事を通して達成感を味わう。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・子育てひろばの内容の見直しを行い、リピーターを増やしていく。
- ・散歩など地域の方と接する機会では、積極的に挨拶をして子ども達の楽しい姿を伝えられるようにしていく。
- ・園内での活動をホームページ等で発信していく。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・各保育室のカーテン(経年劣化)
- ・保育室玩具(ブロック等の経年劣化)
- ・パイプ椅子(経年劣化)

令和6年度 西葛西 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	25人	26人	27人	60人		138人
受入可能数	22人	24人	24人	24人	26人	120人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・年齢や場面に合わせた挨拶が身に付くよう、保育士が手本となり丁寧に行う。
- ・人との関わりや物を大切にすることが育つよう、子どもの環境を整え、安心できる居場所作りをする。
- ・一人一人が自分の思いを素直に表現できるよう、寄り添い、認める。

《やってみようのころ》

- ・子どもの気付きを大切に捉え、自ら調べたり考えたりすることが出来るよう、図鑑や絵本、写真掲示などの環境作りを工夫する。
- ・自分のやりたい事を見つけそれを周りに発信し、友だちと共有しながら遊びが広がっていくよう援助する。
- ・運動遊びやリズム遊びを通し、挑戦する気持ちや達成感を味わい、自信へと繋げ、意欲を高めていく。

《かんじるころ》

- ・食に興味を持ち、食べる楽しさが味わえるよう、日々の食事や栽培等を通し、工夫しながら伝えていく。
- ・散歩や園庭遊びを通して身近な自然に触れ、様々な体験が出来るように活動を広げていく。
- ・音楽、絵画、造形等、子どもの興味関心が高まる活動を通し、表現する楽しさを深める。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・園庭の環境作りとして、広い園庭が魅力となっているが、遊具や玩具等を見直し、あらゆる年齢の子ども達がより楽しめる場所にしていく。
- ・子育てひろばの充実として、リピーターが増えるように、内容等を見直しを進める。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・乳児用の園庭固定遊具の更新
- ・玄関門横にインターホンの新規設置
- ・園庭通用門の更新

令和6年度 中葛西 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	27人	28人	28人	56人		139人
受入可能数	22人	24人	24人	25人	25人	120人

1. 保育目標の具体的な取組内容

<p>《ありがとうのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との関りの中で、何かをしてもらったり、してあげたりする中で他者の存在を意識出来るようにする。 ・日常生活で「感じるころ」を大切に、保育士が場面に応じて「ありがとう」と言葉で伝える事で、言葉の心地よさに気付いたり、感謝の気持ちを育むようにする。 ・遊びを通して視野を広げ、様々な事に気付き、心が動く体験が出来るようにする。
<p>《やってみようのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びや食育を通して、健康な心と身体を育む。 ・保育士や友達との温かな関りの中で、自信の芽を育てていく。 ・保育環境の見直しを行う。「やってみよう」の気持ちが芽生えるよう、安定した環境づくりを行う。 ・発達に応じた体験が出来るように活動内容を工夫し、準備する。
<p>《かんじるころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験を通して五感を働かせる。 ・自分らしさを大切に、他者の感じ方に触れる事で、いろいろな感じ方や考え方がある事に気付くようにする。 ・自由に表現出来る環境に配慮し、豊かな心を育てる。 ・優しさ、思いやり、勇気、感動を共有し、友達との関りを大切にする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の様子を伝える。在園の保護者の方に、日々の活動内容について、保育士の思いを写真や動画等を使い伝えて行く。 ・日常の会話や個別面談、アンケートを通して、保護者の方の思いや意見を伺い、園の運営に活かしていく。 ・子育てひろばの充実。内容の検討、玩具の見直しを行う。保護者の方同士が声を掛けやすい雰囲気作りを行う。
--

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

なし

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	19人	21人	25人	52人		117人
受入可能数	18人	20人	20人	21人	21人	100人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・子ども一人一人に愛情を持ち接することで自己肯定感を高め、人への思いやりや感謝の気持ちを育む。
- ・日常生活の中で人、物、出来事等に対して感謝の気持ちを持ち、保育士が積極的に思いを言葉にすることで子ども達にも優しさや感謝の心を伝えていく。
- ・様々な経験を通して、感謝を伝えたり伝えられたりすることで、心地良さに気付けるようにする。
- ・子どもの素直な表現を受けとめ、気持ちに寄り添っていく。

《やってみようのころ》

- ・子どもの興味や関心に寄り添い、安心して遊べる環境を整える。又、年齢や発達に応じた玩具等を用意し、じっくりと遊び込めるように見守ったり、必要に応じた援助をする。
- ・保育士が保育を楽しむことで様々な活動に意欲的に取り組み、自信に繋げていく。
- ・五感で感じられる活動を積極的に取り入れ、心身の発達に繋げていく。
- ・生活や遊びの中で子どもの気付きに目を向け、共感したり「やりたい」気持ちに応える。
- ・異年齢児交流を通して、憧れや思いやりの気持ちを持ち、人と関わったり刺激を受けながら様々な事に意欲的に取り組む。

《かんじるころ》

- ・様々な事象への興味や関心に対して、子ども自らが感じたり考えたり話したりできる環境を作っていく。
- ・感覚や感情を体験できるような遊びや活動を積極的に取り入れ、豊かな感性を育む。
- ・経験や体験を通し、五感で感じることを言葉にしながら気持ちを共有していく。
- ・保育士が愛情豊かに関わることで、自分の気持ち(喜怒哀楽)を素直に表現できるようにする。又、人との関わりの中では様々な考えや思いがあることに気付けるようにする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・ホームページや園内の掲示等を活用し、保育園の活動の様子や子どもの姿を丁寧に伝えていく。
- ・目に見える情報発信の他、日々の保護者とのコミュニケーションを大切にし、保護者の思いや意見・要望等にも耳を傾けながら対応を検討していく。
- ・園内の清掃、環境設定等の点検を行い、安全面や清潔感のある施設にしていく。
- ・職員の接遇や子どもとの関わり方、職員同士の関わり等の研修を行い、親しみやすい園の雰囲気作りをする。
- ・地域と交流する機会を多く持ち、保育園に入りやすい雰囲気作りをする。子育てひろばを充実させ(行事への参加、毎回来なくなる工夫等)保育園が身近な場所となるようにする。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・園庭側溝の補修工事
- ・巧技台等の更新(経年劣化)

令和6年度 清新第二 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	22人	23人	23人	46人		114人
受入可能数	20人	22人	23人	23人	23人	111人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

日常にある小さな「ありがとう」を発見する。

・ささやかな出来事に感謝し、「ありがとう」の気持ちが湧き上がり自然に言葉として出るように、生活の中の有難さに気付く。

関わる周りの大人も感謝の気持ちを持ち、子どもに対してその気持ちを表す。

・大人も子供も「ありがとう」という言葉の幸福感を知る。

《やってみようのころ》

子ども達が出会う出来事や知らない物事に対して、心が動かされる瞬間を共に楽しむ

・豊かな経験や遊びを通じ、やってみたい気持ちを大切に自ら育とうとする力を支援する。

・遊びのひろがり、夢中になれる環境、沢山の発見を楽しむ

《かんじるころ》

日常の中で様々な体験を通じ、感じる心を大切に豊かな感性を育む。

・目で見、耳で聞いて、匂いをかいで、味わって、肌で感じる活動を体験する。

・自由な表現その子らしさを大切に、一人一人の感じる心、自分や他者の思いに気づく

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

・保育園を知って貰うために、写真、動画、HP等を活用し様子を伝える

・日々の保育、行事、子育てひろば、保育所体験等、日常の様子を伝える。

・保護者との日々の関りの中から、思いや意見を聞き、園の運営に活かしていく

・玩具等、保育環境の見直し

・温かい保育の実践

・保育士の相互支援的な職場環境作り(笑顔、明るい雰囲気が伝わる保育園)

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

・教育用オルガンの更新

・乳児用の遊具の入れ替え更新

令和6年度 北小岩 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	15人	23人	25人	51人		114人
受入可能数	15人	18人	18人	19人	20人	90人

1. 保育目標の具体的な取組内容

<p>《ありがとうのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを発揮しながら人との関わりを広げていくために、一人一人を受容し寄り添い、応答的な関わりを心掛け信頼感を育み安心できる環境を作っていく。 ・異年齢児、未就園児、小学校交流等を実施し、人への興味関心に繋げ、労りや憧れ、優しくしてもらう経験の場を作り、相手を思いやる心を育ていく。 ・野菜栽培を行い、植物の生長を身近に感じながら収穫体験をし、食べ物を頂く感謝へと繋げていく。
<p>《やってみようのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の発達や個性、得意分野を理解し発揮できる環境を作り、認めていく。 ・遊びを通じた発見や興味、試してみようとする思いに、保育士自身が同じ目線で感じる事を心掛け、子どもの遊びへの意欲に共感し寄り添っていく。 ・戸外遊びを積極的に実施し、自然と触れ合う機会を心掛け、自然の不思議への興味に寄り添っていく。
<p>《かんじるころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム遊びを通して音の面白さを感じながら、のびのびと体を動かす機会を増やし、五感を使った遊びに心を掛ける。 ・読み聞かせを通して、絵本や紙芝居、図鑑への興味を引き出し、言葉の習得や想像力を育みながら知識を広げる援助を行う。 ・異文化体験の驚きや好奇心、体操での意欲や達成感等、子ども達の感じた思いに寄り添い取り組んでいく。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気持ち良いと感じる、挨拶の徹底と相手の思いを想像し、その思いに寄り添って丁寧な対応の実施。 ・保護者の親育ちを理解する為、園内研修の実施 ・園を知ってもらう取り組みとして、ホームページや保護者配信システムにて子ども達や職員が感じた園生活の楽しさや面白さを細目に配信していく。 ・子育てひろば、保育所体験の充実 ・玩具や室内の保育環境の見直し
--

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の床暖房改修と環境整備 ・荷物掛けフックの新規取り付け ・机、椅子の経年劣化による更新 ・職員用自転車置き場の検討と施工 ・乳児トイレ衝立取付

令和6年度 南篠崎 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20人	23人	24人	48人		115人
受入可能数	18人	18人	18人	18人	18人	90人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

- ・子ども達と共に職員も気持ちの良い挨拶を心掛け行います。
- ・感謝の気持ちを素直に表し伝え、優しさや人と人とのつながりの大切さに気付く心を育みます。

《やってみようのころ》

- ・友達との関りの中で様々な経験を通して自分で考え、物事に対して意欲的に取り組む気持ちを大切にします。
- ・一人一人の子どもが好きな遊びを、十分に楽しみ満足感を味わう経験を重ねられるような環境を整えます。

《かんじるころ》

- ・生活や遊びの中で五感を使い、体験する活動を取り入れ喜怒哀楽を、友達と共有する中で豊かな心を育みます。
- ・自然や身近な環境の中、一人一人の子どもの興味や関心を大切に、感性が養えるよう援助します。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

- ・子育て支援の内容をさらに検討し、職員が同じ思いを持ち、地域も子育て拠点として、未就園児の受け入れを行いリピーターを獲得、入園へ繋げていく。またその中で園の雰囲気、職員の姿を身近に感じていただけるよう工夫をしていく。
- ・掲示、ホームページ、SNS等を通じて情報発信を行い、園の様子をわかりやすく伝え、興味や関心を持っていただけるよう、職員全員でアピールの方法を検討していく。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

- ・プールサイドのゴムマットの増設
- ・更衣室床補修工事
- ・各種修繕、更新工事(換気システム、網戸等)

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	18人	20人	20人	40人		98人
受入可能数	18人	18人	18人	18人	18人	90人

1. 保育目標の具体的な取組内容

《ありがとうのころ》

・人、物、出来事等、日常の中の小さな感謝に気付きながら子ども達が生活出来るよう、職員自ら感謝の気持ちを声に出すことで気付きを増やしていく。

《やってみようのころ》

・子ども達の日々の姿や対話から保育環境を整え、子ども達が興味を持つことから始め、探求し、最終的には「やる」「やらない」を子ども達自身が選択することが出来る保育を進めることで、子ども達のワクワク感や学びへと繋げていく。

《かんじるころ》

・子ども達の持っている力(五感)を存分に使いながら、体験出来る保育を進め、子ども同士の関りの中で味わう事の出来る喜怒哀楽の感情を、職員が共有し一人ひとりの心に響く関りをする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

安心と満足

・保育園や職員自身のファンを増やし人的環境を整える。
・利用者の満足度を上げる為、職員自身が今以上に専門性を磨き、保育を充実させ、利用者アンケート満足度100%を目指す。

地域に向けての子育て支援の充実

・子育てひろばのリピーターを増やすために、参加者に求められる充実感のある内容の検討を行い、年間通して担当職員を決め、地域の方としっかり関係を作る。また、近隣のおひさま保育園とも連携を図り、出張☆おひさま子育てひろばを行い入園等の見学に繋げる。

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

・砂場日除け設置
・保育室と廊下、ホールの壁紙の張替え
・エアコンの更新
・職員下駄箱の更新

令和6年度 宇喜田 おひさま保育園事業計画(案)

令和5年12月

区 分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認可定員	17人	19人	25人	54人		115人
受入可能数	16人	18人	22人	22人	22人	100人

1. 保育目標の具体的な取組内容

<p>《ありがとうのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども、大人同士の対話や関わりを楽しみ、様々な活動の中、自然な形で「ありがとう」の感謝の気持ちに気が付けるように、職員が率先して沢山の「ありがとう」の言葉を発信、感謝の気持ちを表し、子どもたちが気づける機会を増やしていく。
<p>《やってみようのころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが生活する保育環境を整え、本物に触れ、様々な経験や発見等に疑問を感じ、主体性を重んじる中で、失敗を恐れず、何度でも挑戦出来るよう「やってみよう」の気持ちを持てるようにする。
<p>《かんじるころ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で、体の様々な部分(五感)を活用し、刺激する中で、子ども達一人ひとりが、様々な感じ方をし、感性を豊かにし想像力を養えるようにする。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践計画

<ul style="list-style-type: none"> ブログ、SNS等のツールを利用し保育園での子どもたちの様子を伝え、子ども達自ら『保育園楽しい』『明日も行きたい』等の声を保護者が聞くことで、保育園への安心、安全に対して信頼が生まれ、選ばれる保育園となるようにする。 おひさま子育てひろば、出張おひさま子育てひろば等の内容を、充実したものにし、地域に愛され、地域子育ての応援が出来る保育園を目指す。
--

3. 施設設備改修等計画及び固定資産物品等購入計画

<ul style="list-style-type: none"> 体育器具の新規購入 保育室内 整理棚更新

2024年度 社会福祉法人えどがわ おひさま保育園 全体的な計画 (NO.1)

基本理念	私たちは「子ども」と「わくわくの出会い」を応援します。				
	養護	子どもの心に寄り添い、一人一人の発達に応じた援助や関りにより、健康な心と体を育てます。	教育	遊びや生活の中の体験を通して学び、「生きる力」を育みます。	子育て支援 保育園の特性を活かし、すべての子育て家庭の安心と笑顔を応援します。
保育目標	ありがとうのこころ・挨拶・感謝・素直な気持ちを大切にします/かんじるこころ・五感の育ちと豊かな感性を大切にします/やってみようのこころ・好奇心と探求心の芽生えを大切にします				
共有すべき事項	養護 生命の保持 情緒の安定	5つの領域	3つの柱(資質・能力)	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	
		健康 / 人間関係 / 環境 言葉 / 表現	・知識及び技能の基礎 ・思考力、判断力、表現力等の基礎 ・学びに向かう力、人間性等	・健康な心と体 / 自立心 / 協同性 / 道徳性・規範意識の芽生え / 社会生活との関わり ・思考力の芽生え / 自然との関わり・生命尊重 ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 / 言葉による伝え合い / 豊かな感性と表現	
目指す子どもの姿	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	思いのままに	自分でできるもん	心が動いて世界が広がる	揺れて繋がりが育ち合う	仲間と共に挑戦する
保育のポイント	ゆっくり、じっくり丁寧に	子どもの思いを大切に	子どもと一緒に見つけよう	先回りせずに待ってみよう	子どもの力を信じよう
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康状態、発育発達状態を定期的、断続的に把握する。保護者からの情報、保育中の子どもの状態を観察し、異常が認められた時に適切な対応をする。 ○入所時及び年2回健康診断 ○年1回歯科検診 ○健康発達状態の把握 ○身体測定 ○心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ○巡回支援 ○保健ボード掲示 				
環境・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の設備、用具などの清掃及び消毒、安全管理及び自主点検を行う。子ども及び職員の清潔の保持と共に、施設内外の保健的環境の維持、向上に努める。 ○職員細菌検査 ○プール管理日誌 ○害虫駆除 ○砂場消毒 ○安全管理自主点検 ○手洗いうがいの徹底 ○検温と園内アルコール消毒の徹底 ○感染経路対策 ○保健保持増進指導 				
安全対策・事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園内外の安全点検 ○通用門の施錠(オートロック完備) ○散歩、園外保育時の対応 ○安全対策のための職員の共通理解や体制づくり(救命講習会AED含む) ○交通安全指導 ○非常110番通報 ○怪我や事故防止対策 ○感染症対策○プール、熱中症マニュアルの整備 ○投薬管理○食物アレルギーの対応及び訓練 ○避難訓練(火災、地震、水害) ○非常食訓練 ○災害伝言ダイヤル訓練 ○法人防災総合訓練 ○不審者対応訓練 ○保育中の人数確認の徹底 ○年長児プライベートゾーンの周知 				
保護者・地域への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の保育の様々な機会を活用し、保育の意図などを伝える事で保護者への説明責任を果たすとともに保護者の思いや考えを理解し、信頼関係を築いていく。 ・子育て相談などを通して、地域の親子に子育て情報や遊びの場を提供し、安心して子育てをおこなえるようにする。 ○関係機関との連携○アプリにてお便りの提供○保護者参加行事 ○子育てひろば開催・子育て情報新聞の発行○保育所体験○育児相談事業 ○実習生・職場体験・ボランティアの受け入れ○熟年者との交流 				
特別な配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○障害や発達上の課題のある子ども、児童虐待等不適切な養育、要支援家庭には区や関係機関(江戸川児童相談所・警察)と情報提供及び共有や連携体制の構築 ○ジェンダーや多様な文化(宗教等)への配慮 ○SDGsの取り組み 				
施設長の責務・研修計画の向上	<ul style="list-style-type: none"> <施設長>○社会的責任を遂行するための法令などの遵守 ○保育の質及び職員の専門性の向上 ○計画的な研修機会の確保 <職員>○外部研修の参加 ○園内研修(法人研修を含む)の充実 ○キャリアアップを目的とした研修計画 ○保育内容ケース会議その他各種会議の実施 				
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携を取り合い、学校行事や参加を通して小学校就学への期待が持てるようにする。 ○保育要録の送付 ○学校行事見学 ○小学校との連携(職員間交流や情報交換) 				
食を営む力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○食育計画の作成 ○食育活動(大豆を使った活動としてきな粉作り・みそ作り・クッキング等) ○食物アレルギー対応 ○食育講話 ○食事マナーの習得 ○サンプル展示 ○給食便りの発行 				
社会的責任	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的責任(児童福祉施設として保育の知識、経験、技術を生かしながら、子育て家庭や地域社会に対しその役割を果たす。) ○人権尊重(保育士は保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に裏付けられている事を認識し理解する) ○説明責任(保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い運営をすることで、一方的な説明ではなく分かりやすく対応的な説明をする) ○個人情報の保護(保育にあたり子ども、保護者に関する知りえた情報は正当な理由なく漏らさない。児童福祉法第18条の22) ○苦情の処理・解決(苦情解決責任者である施設長の下に担当者を決め書面における体制を整備する。また、第三者委員を設置する。職員で共通理解を図る) ○地域社会との交流や連携 				
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ○生活時間の大半を過ごす場として、十分に養護の行き届いた環境及びくつろいだ雰囲気の中で情緒の安定を図る。 ○子どもの発達過程、生活リズム及び心身の状態に配慮し、保育内容・職員体制に配慮する。 				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価 ○園全体での反省(次期の計画へ反映) ○第三者評価と利用者アンケート 				

保育の内容

年齢		保育所保育指針に定めるねらい	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
養護	生命の保持	①一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ②一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	○家庭と連携を取りながら、一人一人の健康状態や発育・発達状態を把握する	○運動と休息のバランスが取れる様に配慮する	○健康状態を把握し、感染症の早期発見に努める	○気温や活動に応じて自分で衣服の調整を行い、快適に生活できるようにする	○生活習慣を意識し、健康な生活を送るために必要な習慣を身に付ける	
	情緒の安定	①一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。 ②一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ③一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ④一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。	○興味を持った事や発見した言葉に耳を傾け、些細な事にも成長を認めて自信に繋げていく	○ひとりで出来た喜びを味わい、自信が持てるようにする	○一人一人の成長を認めながら満足感を味わったり、自信を持って生活したりできるようにする	○安心感を持って友達と関われるようにする	○色々な経験を通し、充実感や自信が持てるようになる	
教育	健康	1 2歳	①明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 ②自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣に気付き自分でしてみようとする気持ちが育つ	○簡単な身の回りのことを自分でしようとする	○自分から進んで身の回りの事をしようとする	○排泄の後始末を保育士の手助けを受けながら、自分でやろうとする	○基本的な生活習慣を身に付け、見通しを持ちながら、生活し、身の回りの事を進んでする	○戸外遊びに意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを発展させる ○自分の体調変化に気づき、保育士に伝える
		3歳以上	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。	○保育士を中心に遊ぶ中で、友達と関わる楽しさを知る	○自己主張や葛藤を経験しながら、友達と一緒に過ごすことの喜びを味わう	○簡単な集団遊びを楽しむ ○友だちを意識し、グループのルールを守ろうとする	○順番を守る等ルールを守って遊ぶ楽しさを知る	○集団生活の中で自己主張をしたり、相手の意見を取り入れたりしながら協力し合う
	人間関係	1 2歳	①保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ②周囲の子ども達への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ③保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	○保育士を中心に遊ぶ中で、友達と関わる楽しさを知る	○自己主張や葛藤を経験しながら、友達と一緒に過ごすことの喜びを味わう	○簡単な集団遊びを楽しむ ○友だちを意識し、グループのルールを守ろうとする	○順番を守る等ルールを守って遊ぶ楽しさを知る	○集団生活の中で自己主張をしたり、相手の意見を取り入れたりしながら協力し合う
		3歳以上	①保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	○友達のもの・個人の物の区別がつくようになり、自分の持ち物を大切にすること	○簡単な数を理解でき、数えられる ○身近な物や遊具に興味を持ち、工夫して遊ぶ	○色、形、数、量、上下、大小の違いに気付く ○様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ	○昆虫や植物に興味を持ち生長や実り、命の大切さに気付く	○身近に起こる事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする
環境	1 2歳	①身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 ②様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ③見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	○友達のもの・個人の物の区別がつくようになり、自分の持ち物を大切にすること	○簡単な数を理解でき、数えられる ○身近な物や遊具に興味を持ち、工夫して遊ぶ	○色、形、数、量、上下、大小の違いに気付く ○様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ	○昆虫や植物に興味を持ち生長や実り、命の大切さに気付く	○身近に起こる事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする	
	3歳以上	①身近な環境に親しみ自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	○保育士や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ	○色々な経験を通して、イメージや言葉を豊かに表現する	○ごっこ遊びを通して生活に必要な言葉が豊富になる	○生活の中で、必要な言葉を場面に合わせて使うことが出来る	○考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く	
言葉	1 2歳	①言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 ②人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ③絵本や物語等に親しみとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。	○保育士や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ	○色々な経験を通して、イメージや言葉を豊かに表現する	○ごっこ遊びを通して生活に必要な言葉が豊富になる	○生活の中で、必要な言葉を場面に合わせて使うことが出来る	○考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く	
	3歳以上	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ言葉に関する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。	○簡単な言葉で自分の気持ちを伝える	○色々な経験を通して、イメージや言葉を豊かに表現する	○ごっこ遊びを通して生活に必要な言葉が豊富になる	○生活の中で、必要な言葉を場面に合わせて使うことが出来る	○考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く	
表現	1 2歳	①身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ②感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 ③生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	○保育士や友達と一緒にごっこ遊びや、表現遊びを楽しむ	○音楽に合わせて楽しく身体を動かし、のびのびと表現する	○想像力が豊かになり、作ったり描いたりすることを楽しむ	○友達と一緒に音に親しみ、楽器遊びを楽しむ	○絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう	
	3歳以上	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	○保育士や友達と一緒にごっこ遊びや、表現遊びを楽しむ	○音楽に合わせて楽しく身体を動かし、のびのびと表現する	○想像力が豊かになり、作ったり描いたりすることを楽しむ	○友達と一緒に音に親しみ、楽器遊びを楽しむ ○劇遊びを楽しみいろいろな役を表現する	○歌を歌ったり楽器を使ったりしてリズムの変化を楽しむ	
食育	「保育所における食育に関する指針」期待する具体的な育ちの姿として、 ①お腹がすくリズムのもてる子ども ②食べたいもの、好きなものが増える子ども ③一緒に食べたい人がいる子ども ④食事づくり、準備にかかわる子ども ⑤食べものを話題にする子ども		○食材に興味を持つ ○特定の大人との食事に慣れる ○様々な食べ物の味に慣れる ○食事の時間を喜び、自ら進んで食べようとする ○挨拶、食具の持ち方、姿勢など色々なマナーがある事を知る	○意欲的に食べるようになる ○友達と一緒に食事を楽しむ ○食べ物の食材や名前に興味を持つ ○食事のマナーを意識し、守ろうとする ○最後まで自分で食べようとする	○食べることの楽しさを知る ○楽しい雰囲気の中で食事する ○食事のマナーを守る ○色々な食材に興味、関心を広める ○正しい食具の使い方を身につける ○最後まで自分で食べようとする	○食べることにより全ての命の大切さを知る ○望ましい食事の態度に気付く ○栽培を通して食べ物の大切さを知る ○季節の食材を知る ○食べ物に対する関心が高まり、自然の恵みに感謝する	○三色食品群等、食事と栄養のバランスに興味を持ちながら食事をする ○食事のマナーを再確認する ○食べ物と身体の関係に興味を持つ ○様々な体験を通して食に関する知識を深める ○食べ物の大切さや感謝する気持ちをもち命の大切さに気付く	